

05年1月1日から  
障害者の支援事業を開始します

サービス  
提供責任者  
中田 佳代子

6月1日からスタートした介護保険適用の訪問介護事業(ヘルパー派遣事業)が、6ヶ月経って利用者も順調に増え(12月10日現在15名)、介護内容も愛逢くらぶの「助け合いの精神」に満ちた特徴あるものに定着しつつあるように思えます。

このように訪問介護事業が短期間で定着できたのは、愛逢くらぶ10年間の活動で積み上げてきた基礎があったればこそと、つくづく実感しています。

### 十年の積み重ねの先に

そこでかねてより要望の大きかった障害者支援事業(身体障害者、知的障害者、障害児童の三事業)に、着手する時期がきたのではないかと判断して、10月24日の運営委員会と11月9日の理事会に提案し、承認を得ることができました。

ただちに申請書類を作成して、11月29日、県庁に提出することができました。このまま順調にいけば、05年1月1日から事業開始の認可が下りそうです。

### 地域と共に

事業開始当初は、一つ一つのケース(事例)を大切に確実にサポートしていきたいと思います。そして、力量アップを計りながら着実に件数を増やしていくといいなと思っています。

障害(児)者ことで、お悩みの方はどんなことでもお気軽にご相談下さい。

連絡先 ☎ 6493-1424



## みんなで楽しみました、奈良！

H16年11月4・5日、車椅子ご利用の方々も含め、総勢15名が2台の車に分乗して、奈良方面への旅に出かけました。

すばらしい秋晴れに恵まれ、奈良公園の木々は美しく秋の色を深めていました。公園の鹿たちが顔を揃えて挨拶に来てくれ、心和むひとときでした。

広い芝生の上で車座を作り、青天井のもと昼食をとりピクニック気分を満喫することが出来ました。

午後、自由行動の後、簡保の宿に向いました。

二日目は、平城京跡に復元された朱雀門を尋ねました。夏草の枯れた小径をふみしめながら、皆元気に歩きました。左手に大極殿の復元工事も始まり、古を偲ぶことの出来る旅でした。楠元さんの車中案内も明るく、2日間楽しく過ごせたことを感謝いたします。

石井淑子



## 大浴場に感激！

11月4日・5日の2日間、NPO 愛逢主催の一泊旅行（奈良）に家内と一緒に参加させてもらいました。当日は絶好の天気で少々暑い位でした。昼前には奈良に到着、早速に公園で楽しく昼食。食後に滑川さんに家内の車椅子を押してもらい、東大寺の参拝に行く。途中修学旅行生や外国人の人々で参道は大賑い。中学3年の孫娘の為に来年は高校入試合格の祈願を込め御札を購入。3時過ぎ宿泊所カンポの宿「奈良」到着。家内はスタッフの方々の御好意で大浴場に入浴出来たのを非常に喜んで帰ってからも、

「うれしかった、うれしかった。」  
と、言っておりました。ありがとうございました。

翌日も好天気で、平城宮跡、朱雀門とゆっくり、ゆっくり廻り、後は一路帰途に付き予定通り無事帰りました。

2日間、関係者の皆様には大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。次回も出来れば参加させてもらいたいと思っております。

八倉巻さん、橋平さんの仮装、最高でした。

橋詰 剛

# みんなで食べた弁当 おいしかった！

愛逢の旅行は、本当に毎年好天気に恵まれ絶好の旅でした。

奈良公園での縁あざやかなシバフの上でのお昼のおにぎりの美味しさと、手作りしてきてくださったから揚げ、空気の好い中での格別の味は忘れられません。家族以上のあたたかさをひしひしと感じさせて頂きました。

又、夕食も次々と出される料理も美味しく全部頂きました。その後のビンゴゲーム、なかなかビンゴが出ず、これ又楽しみでもあります。

趣向を凝らして下さり(カツラ)さぞかし暑かったことでしょうね。すべてを忘れる楽しいひと時でした。お風呂も皆様の心温まる思いやりで体の芯までぬくもらせて頂き感謝々々です。

夕食後は又、皆様の楽しいお話や色々なご苦労話等、非常に勉強させていただきました。人それぞれ悩みは違えど何か重い荷物を背負い生抜き耐えて来てこそ今日の幸が有る事をつくづく感じさせていただきました。

残りの人生を一日一日大切に感謝しながら又、来年もご一緒にさせて頂ける事を励みに頑張ります。色々とお世話下さった皆々様本当に有難うございました。心よりお礼申し上げますと共にこれからも愛逢の益々のご発展をお祈り申し上げます。

一首



愛逢の楽しい旅行

思いつつ 痛みこらえし

リハビリ通い

中根 富美枝



## スタッフ募集

### 《 障害者への支援事業 》

- ヘルパー（特に男性）
- ガイドヘルパー

### 《 配食サービス 》

- 調理を手伝っていただける方
- 弁当の配達を手伝っていただける方

お問い合わせは、 ☎ 06-6493-1424 まで

配食サービスが

05年4月から、週6日（月曜日～土曜日）への

移行めざします

配食サービス（責任者）橋平 浩子



7年前「愛逢くらぶ」で配食サービスを始めるというので、色々な所へ勉強に行った時のことと思い出します。

その時点でも、週6日の配食に対するニーズ（要求）も大きく、ぜひそうしたいものと思いつながらも、調理場・ボランティアの人数などの問題点が大きく、現在のように月・水・土の週3回で出発し、今日まで続けてきました。

### 地域のニーズに応じて

介護保険制度の開始（2000年）以来、ケアマネージャー（介護支援相談員）さんや訪問看護師さんなどから、配食の利用とりわけ「週6日の配食サービスはできなんか」との相談が多くなりました。

この点について、11月24日の運営委員会の研修で検討してみました。その結果、今までの経験から調理場の問題は解決できるのですが、

「調理場の責任者的役割をしてもらえる人を、橋平の外にもう1人見つけることができれば、なんとか実現できるのではないか」ということになりました。



### 熱い思いが毎日の型に

その後、その候補者が見つかり、12月9日の理事会で承認していただくことができました。

それで、05年1月頃から準備期間として、4月からは本格的な実施という方向で踏み出すことになりました。

これからは、人の手配がもっとも重要な問題になってきます。毎日の弁当の注文の整理、配達の手配、回収弁当箱の洗い、準備など細かい作業のことが、私の頭の中を駆け廻っています。でも、その時、配食を届けた時の利用者の笑顔と「ありがとう」の言葉が響いてきたのです。

そうだ、「この気持ち」をいつまでも大切にしていこう。そして、多くの仲間の皆さんに助けていただきながら、細かい問題を一つ一つ解決して、週6回の配食サービスの実現に向けて進んでいこうと思ったのです。

### この指とまれ！！

会員の皆さん、地域の皆さん、どんなことでもお手伝いしていただける方、私たちの「この指」に止まってください。よろしくお願ひいたします。

今、法人は。そしてこれからは……

## 運営委員会研修と理事会が開かれました

兼行 栄子  
(理事)

NPO 法人を立ち上げて半年。坂本理事長を初めとし、その任に当たった事務局のメンバーは、初めての業務できりきり舞いをした半年でした。

なんとか一段落した10月末、ちょっと立ち止まってこの歩みを振り返り、現状を分析し、今後の展望を語り合おうと、運営委員会の研修会(10/24)と第3回理事会(11/9)を開きました。

そして、以下のことを確認しました。

- (1) 訪問介護事業（ヘルパー派遣事業）  
を手がけることによって、助け合い活動、移送サービスの利用者の掘り起こしにつながった。
- (2) 配食サービスは、停滞傾向にあるが、  
その原因が、
  - ① 月・水・土の配食では利用がしにくいうこと。
  - ② 600円の値段では高すぎるのでないか。という結論に達し、来年度をメドに週6日（月～土）の配食の実施に踏み切ることにする。
- (3) 身体・知的障害（児）者へのサービス事業である支援費事業にも、県庁への申請手続きを行い、ただちに事業を開する。



## 将来の夢を語り合いました

当面する活動の問題だけではなく、将来の夢についても語り合ってみました。子育て支援の本格化、ヘルパー養成講座の開催、障害（児）者の生活の場作り、『死』の問題を怖れず向き合うこと等々が語られました。

まとめとして、NPO 愛逢は「愛逢くらぶ」時代に培ってきた「遺産」（信用・心・お金）を大切に受け継ぎながら堅実に前進してきていること。

これからも、地域のニーズに目を向けながら自信を持って歩んでいこうと確認し合いました。



多くの思い出を残して

## ミニディが終了します

利用者の皆様に愛され、親しまれたミニディは、残念ながら12月末で一旦終了することになりました。

大きな心で支えて下さった愛逢の送迎の方々、物心両面にわたってご支援いただいた園田苑。皆様方の「協力の輪」があったればこそ、いろいろな思い出をつくることができました。

心より感謝し、お礼申し上げます。

ミニディ担当 滑川三千代  
長嶺弘美  
西住祥子



## NPO 愛逢の長所って何？！

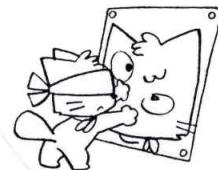
### 「NPO スキルアップセミナー」に参加して

私達、NPO 愛逢も、NPO（特定非営利活動法人）として船出して早、9ヶ月が経過しました。この間、NPO 法人としての力量をつけるため、また、市内の NPO 団体との連携・協働を深めていくために二つの講座に共催として協力しました。

その一つが、NPO 法人男女共同参画ネット尼崎が主催する「NPO スキルアップセミナー」で、もう一つは、NPO 法人障害者情報ネットワーク尼崎が主催する「NPO 活動実践講座」です。今回は、その中の「NPO スキルアップセミナー」に参加された楠元きみゑさんに感想文を寄せていただきました。



# 目から鱗でした



10月23日、尼崎市女性センター・トレビエで行われた「プレゼンテーションについて一魅力的なプレゼンテーションの作り方」に参加して勉強させていただきました。

「プレゼンテーション」とは、やさしく言うと「自分達を上手にアピールするために、聞き手に『よかったです』と思わせるための技術・手段などの知的コミュニケーション」のことだそうです。中川講師は、開口一番

「今日は、あなた方の考えが変わります。

目から鱗ですよ」

から始まりました。

何をアピールしたいのか・どのような人達が対象なのか・男女の比率は、人数は・会場の広さ、設備等を事前に把握して、繰り返し練習すること。その際、鏡の前で自分の立ち姿、顔の表情、手の位置、目先等も考えて…私自身大変よい勉強をさせてもらったと喜んでいます。本当に「目から鱗」でした。残念なのは、次週の実習に参加できなかつたことです。

### ホット 感想

04年も押しつまり NPO 取得後初の年末年始を迎えるとしております。

事業展開も今のところ、順調でこれも皆様のご協力の賜と心よりお礼申し上げます。

新年からは、障害（児）者の支援事業の開始が決まりました。益々、会員の皆様のご理解とご協力が必要となります。

どうぞ、ご支援下さいますことを切にお願い申し上げます。

皆様お揃いで楽しいお正月をお迎えになることを念じています。

